にこにこ☺新聞

第一回 新年号
2004年1月発行

明けまして おめでとうございます。
楽しい 朝、静かな朝、希望に満ちた朝、皆さんは どんな新年をお迎えになりましたか？
新しい年も 健康な歯で 元気に幸せな一年を過ごせますように！
さて 今回は第一回の新聞発行ということで 白田歯科医院のことを中心に紹介します。

白田先生のあいさつです☺

この度、白田歯科医院では 院内新聞を発行することになりました。
この新聞の創刊で患者さんとよりいっそう、いろいろコミュニケーションがとれるようになれればと思います。今以上に、患者さんに優しい、患者さんの気持ちの分かる、患者さんを一人の人として接することを大事にして、この医院を目指しています。
スタッフ全員で楽しい記事を考えていきますので、どうぞ、暖かく見まもって下さい。
よろしくお願いします。

院長

＊予防ルームについて＊

今度改装した白田歯科医院には、掃除専用の個室ができました。今までの診療台と違って座ったりリラックスもできるようになっています。
専用の鏡が備えつけてあって、大きく見えるので、磨き残しの歯も十分にチェックができます。また歯科衛生士が時間をかけて、清掃いたしますので満足していただけると思います。
これからは予防の時代です。1本でも多く自分の歯を残そうと思われる方1度PMTCをお試し下さい。
お待ち致しています。

連載エッセイ
歯医者のひとりごと

百田昌史

小学校1年生のお下げ髪のかわいいKちゃんは歯科治療の非協力児です。今までで何回か、治療をしようとトライしたのですが、口をあけてくれませんでした。

その彼女が今日はおばあちゃんに連れられてやって来ました。おばあちゃんのお話では昨晩は相当歯が痛んだようです。

普段は痛みが無いので歯を掃除してやったり、歯磨き指導をしたり、応急処置をしたりして様子を見ていたのですが、今日はそういうわけでは済みそうにありません。家族中で昨晩はおちゃんのわめき声に悩まされたようです。おばあちゃんに「どうしましょうか？」と尋ねられました。「明日から連休ですもんね。押さえてでもやって下さい。」とのことでした。

私は元来、強引な治療をするのはあまり好きではありません。押さえつけられて治療された子が精神的ダメージを受け、トラウマになることを考えると、とてもできません。でも今回の場合はそうはいかないようです。

その日

こども

口器（強制的な力による口を開けておく器具）を使っての治療となりました。泣き叫ぶ中、悪戦苦闘の末、鼻腔呼吸を乗り越えやっとのことで処置は終わりました。

私もスタッフも1日のエネルギーを使い果たしてしまいました。

医院ではほっとしているとKちゃんが現れました。そして、にっこりと笑って「ごめんなさい」と言って、私の手を引いて診療室まで連れて行き、皆の前で「ありがとう」と言ったのです。Kちゃんの言葉に感動するや、驚得するやでした。

子供って、不思議なものです。とれって「虎穴に入らずんば虎児を得ず」とでもいうのでしょうか？いやちょっと違うかな。

（つづく）

12月15日 日々新聞 ょう

院長、日々新聞に"歯医者のひとりごと"連載中